

令和 6 年度

第 2 回

自己評価委員会報告書

於：令和 7 年 2 月

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

第2回 自己評価委員会報告書

日 時：令和7年 2月20日（木） 10：20～13：30

場 所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者名：（学園）嶋村理事長・百瀬副理事長・桐山事務局長

（学校）小原校長・小口教務主任

嶋村理事長挨拶

自己評価をする意味合いを理解すること。今後の第9次3ヶ年計画において、目標・課題となるのは自己評価・自己点検が基になる。改善をしながら高みを目指して行ってほしい。

【審議検討事項】

1. 令和6年度自己点検・自己評価について

令和6年度報告として、教育理念の2項目・学校運営の3項目・教育活動の2項目・学修成果の3項目・学生支援3項目・教育環境の1項目・学生募集と受け入れ2項目・社会貢献の1項目について、評価4について継続的に向上した部分の報告と今後の対策について細かく説明を行い、対策方法等について意見交換を行った。

評価4を、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

また、評価4から評価3に下がった理由についても説明を行った。向上できるよう努力していく。

公平な評価を今後も継続していくべきである。

各項目一つずつ細かく評価できていることが、次へと繋がっていくのでは。今後第三者評価という形式になった場合においても、大丈夫な体制が整っているのでは。

公平な評価を今後も継続していくべきである。

- ・基準1：国家試験合格率が低いままのため、評価3とした。学校教育内容をより一層深め、合格率を上げる努力をしていきたい。
第3者評価を重視し、学校の特色を強めていきたい。
- ・基準2：パンフレット・HP内容について、希望があれば提案してほしい
→広報企画部として新しい業者との打ち合わせを予定している。その際、学校の先生方にも参加して頂き、提案をしてほしい。
時間外の在り方を全職員が共通理解できるよう、3月学園研修にて学園より再度説明を行う
教員不足の件について、短期的・長期的視点で考えていく
危機管理マニュアルの見直しを推進していく。
- ・基準3：美容組合との合同勉強会を実施した。（2/17）→即戦力のある人材育成のため業界・学校支援サロンとの協力体制を強化していく。
寿教育支援センターの不登校生徒達の学校見学を実施。（2/21）→多様化する生徒への対応も必要となっている時代である。
- ・基準4：検定受験希望者数が減少傾向である。→カリキュラムや授業内容の検討が必要である。
- ・基準5：給付型奨学金に加え、多子世代奨学金もスタートする。
令和9年度よりスタートする通信制600時間の体制づくりを準備していく。

- ・基準7：学生募集の厳しさを感じている。より一層工夫し現状より増加していくよう方策を工夫しあきらめずに学校の魅力を伝え、学生募集に力を入れていく
学校支援サロンに対し、就職ガイダンス申込書に学校オープンキャンパス等のチラシを同封し、協力を強めていく。

2. 令和6年重点目標について

○令和6年度重点目標の実施状況の報告

重点目標① 教職員の協力体制による指導力の向上

- クラス担任による指導を主としながらも、学年全体で個々の生徒に向き合えるように指導内容を共有していく。
- 学年全体で新任教員の育成に関わりながら、自らも指導方法の改善に努める。
- ・年度を振り返り、教職員の協力体制により学校運営を進めることができた。年間を通して、特に学校行事に関わる準備・運営・振り返りを教職員一丸となって取り組むことができた。

重点目標② 教師と講師との連携強化

- 嘱託講師との連携を強化して、授業への取り組みを向上させていく。
- 嘱託講師の授業内容、授業計画を把握して、自らも学ぶ姿勢で関わっていく。
- ・各教師による自己評価からも、講師との連携については課題が残るが、学期末テストの結果から低位生への取り組みや情報共有を行うことで、多面的な学習指導に繋がっている。

重点目標③ 教師と生徒との距離感を意識する

- 初めと終わりを意識して、本時の導入とまとめを明確にしていく。
- 個々の生徒に対して見落としの無い、平等な指示と評価を心掛ける。
- ・教師と生徒の距離感の近さが、専門学校の強みと見ることができる。しかしながら、一定の節度や距離感は保つ必要がある。教師が教えるティーチングから、主体性を高め寄り添うコーチングへの切り替えが、教える側の行動変容として求められる時代である。引き続き、具体的な行動指針を加えて令和7年度の重点目標として組み入れる。

○令和7年度 重点目標

重点目標① 授業計画に沿った準備・指導・振り返りの改善

重点目標② 教師・講師・学生会との連携強化

重点目標③ 教師と生徒との距離感を意識する

3. 学校関係者評価委員会より報告

- ・令和6年度自己評価中間報告

- ・令和6年度重点目標の実施報告・課題の説明
 - ・令和7年度重点目標 ①教育活動 ②教育活動の整備 ③学生募集
 - ・学校関係者評価委員より提言 各項目・重点目標について
- 以上が、学校関係者評価委員会にて検討した事項の報告
- 学校関係者評価委員の報告が、第三者評価になっていくので、今後活かしていく。

4. 教育課程編成委員会より報告

- ・令和6年度自己評価中間報告
- ・令和6年度重点目標の実施報告・課題の説明
- ・令和7年度学校関係評価委員会報告
- ・2023年度就職状況
- ・2024年度職業実践専門課程 選択科目

以上が、教育課程編成委員会にて検討した事項の報告

5. 次回 第1回自己評価委員会 令和7年7月15日（火）10：00～（松本校）
- 令和7年度 自己評価中間報告
- 令和7年度 重点目標中間報告